ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　91　号
２００８．７．１

目　次

2008年度　北海道考古学会第45回総会略報……1
遺跡見学会のご案内……6
研究会のお知らせ……7
事務連絡……8

2008年度　北海道考古学会第45回総会略報

４月26日(土)13時より札幌大学3002号教室にて本年度の定期総会が開催されました。会員数379名に対し、本人出席60名、委任状出席110名、合計170名と、総会成立の要件である会員数の３分の１以上の出席を得たため、総会は成立いたしました。議長には第１地区（札幌市）の臼杵勲会員を選出し、下記の議案について審議されました。

この結果、下記の原案とおり承認されましたので報告いたします。

第１号議案　2007年度会務報告

（1）事業報告

ア　第44回総会・研究大会

期日：2007年４月28日　　場所：北海道大学　学術交流会館
総会：2006年度会務報告、2007年度会務計画案（いずれも承認）
研究大会：テーマ「続縄文時代研究の現在」

イ　運営委員会

（回数）	（開催日）	（主たる議題）
第１回	４月28日	正副会長の互選
第２回	５月19日	遺跡見学会など
第３回	６月17日	遺跡見学会・研究会など
第４回	９月９日	遺跡報告会・名簿・長期会費滞納者への対応など
第５回	10月14日	遺跡報告会・研究大会・名簿など
第６回	11月17日	遺跡報告会・会費督促・会誌など
第７回	１月26日	研究大会・特別委員会の設置など
第８回	２月23日	総会・研究大会・定例研究会・会誌など
第９回	３月22日	総会・研究大会など

ウ　定例研究会

第１回　期　日：７月28日
　　発表者：柳澤清一氏（千葉大学）
　　テーマ：「伊茶仁ふ化場第１遺跡と北方編年体系」
第２回　期　日：11月17日
　　発表者：芝田直人氏（(財)北海道埋蔵文化財センター）
　　テーマ：縄文時代晩期後半の生業と土器編年―江別市対雁２遺跡の調査から―
第３回　期　日：２月16日
　　発表者：阿部明義氏（(財)北海道埋蔵文化財センター）
　　テーマ：赤彩された微隆線土器について―縄文時代後期後半―

発表者：添田雄二氏（北海道開拓記念館）
テーマ：小氷期とアイヌ文化（予報）
＊会場は、いずれも北海道大学博物館共同研究室にておこないました。

エ　遺跡見学会
期　日：８月４・５日（１泊２日）　　参加者：42名
場　所：帯広市・陸別町・津別町・網走市・北見市

オ　遺跡調査報告会
期　日：12月15日　　場　所：北海道大学 学術交流会館小講堂
内　容：各地域の概況および発掘調査の紹介・質疑

カ　連絡紙『北海道考古学会だより』の発行
年３回　88号（７月18日発行）、89号（11月15日発行）、90号（３月19日発行）

キ　会誌『北海道考古学』第44輯の発行
2008年３月発行　500部

ク　会員名簿の発行
2007年11月発行

ケ　占冠原野１遺跡における重機による遺構掘削の件にかかわる対応
本会会員の投稿により、道教委・道埋文センターに事実確認、面談等を経て、本会会長名で要望書を両機関に送付。両機関より文書による回答を得た。「だより」第90号に経過報告および会としての考え方と今後の方向性を示した。

(2) 収支決算報告

収　入

項　目	費　目	予算額(A)	決算額(B)	増 ▲減	備　考
会　費	会　費	1,500,000	1,874,000	374,000	5,000円×373件、4,500円×２件
事業収入	研究大会収入	60,000	44,000	▲ 16,000	研究大会資料集販売 88部×500円
	遺跡見学会収入	500,000	884,600	384,600	一泊二日ツアー 42名参加 ４名１室19,800円×16名 ３名１室20,800円×９名 ２名１室21,800円×12名 １名１室23,800円×５名
	遺跡調査報告会収入	13,000	126,000	▲ 4,000	報告資料集販売 126部×1,000円
	会誌等販売収入	100,000	237,890	137,890	会誌・資料集販売
	小　計	790,000	1,292,490	502,490	
広告料収入		0	0	0	
雑　入		4,069	0	▲ 4,069	
繰越金		180,931	180,931	0	
基金繰入金	特別収入	0	0	0	
特会収入	特別会計収入	0	0	0	
合　計		2,475,000	3,347,421	▲ 872,421	

支　出

項　目	費　目	予算額(A)	決算額(B)	残(▲超過)額	備　考
事業支出	研究大会費	320,000	230,570	▲ 89,430	講師謝礼交通費等
	遺跡見学会費	300,000	702,256	▲ 402,256	宿泊費貸し切りバス等・振込み手数料

事業支出	研究会費	20,000	100,000	10,000	共催負担金
	遺跡調査報告会費	300,000	237,980	85,115	資料集印刷費・ 発表者謝礼交通費等
	会誌印刷費	1,200,000	993,510	62,020	第44号500部／振込み手数料
	だより印刷費	130,000	169,940	▲ 39,310	88号・89号・90号／ 振込み手数料
	ホームページ費	90,000	29,604	76,340	プロバイダー契約料、 更新・維持管理費
	小　　計	2,110,000	2,033,660	76,340	
事務支出	総会費	5,000	0	5,000	
	委員会費	5,000	0	5,000	
	消耗品費	50,000	30,734	19,266	文房具代・封筒代・コピー代等
	通信費	200,000	202,803	▲ 2,803	会誌・だより発送費、 葉書切手代金等
	事務人件費	50,000	12,500	▲ 37,500	会誌・だより等の発送、 その他事務処理
	小　　計	310,000	246,037	▲ 63,963	
特別支出		55,000	183,790	128,790	会員名簿印刷費等
予備費		0	0	0	
合　　計		2,475,000	2,463,487	11,513	

2007年度決算

項　目	費　目	予算額（A）	決算額（B）	差引額(B－A)	備　考
	収入総計	2,455,000	3,347,421	▲ 872,421	
	支出総計	2,455,000	2,463,487	▲ 11,513	
決算額差引	収入総計（B）－支出総計（B）			883,934	

2007年度北海道考古学会基金会計

項　目	費　目	予算額	基金積立額	基金総額	備　考
基金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構保男氏寄付金		20,000	860,000	平成17年５月29日10,000円送金 平成18年３月22日10,000円入金
	宮下正司氏寄付金		10,000	870,000	平成20年３月31日10,000円入金
	臨時積立金		200,000	1,070,000	
合　計				1,070,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財調査団事務所被災支援金	77,000		993,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	160,000		833,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	60,000		773,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		533,000	
合　計		537,000			
基金残高				533,000	

(3)　監査報告

北海道考古学会の2007年度会計の監査を実施した結果、適正に処理されていることを確認したので報告します。

2008年４月18日

監査委員　菊池俊彦　㊞
高橋和樹　㊞

第２号議案　2008年度会務計画

(1) 事業計画案

ア　基本方針

① 北海道考古学の発展のため、会誌の充実、研究大会・定例研究会・遺跡見学会・遺跡報告会などの積極的な開催を図る。

② 遺跡や考古学を取り巻く環境が日々変化していく中で、諸課題に取り組むための「特別委員会」を設置するなど、環境変化に機動的に対処しうる体制をとる。

③ 「だより」・ホームページなどを通じて会の活動や研究成果を情報提供する。

④ 会費納入の呼びかけと適正な予算執行により、財務基盤の安定化を図る

イ　2008年度事業計画

① 研究大会

期　日：2008年４月26日(土)　　場　所：札幌大学 プレアホール及び３号館3002室
テーマ：「続縄文文化とは何か」
基調講演：「続縄文文化と弥生文化、鉄器を中心に」　石川日出志氏（明治大学）
各　論：鈴木信氏・高倉純氏・福井淳一氏・高橋健氏
討　論：司会　熊木俊朗氏（東京大学）

② 遺跡見学会

日　時：８月・日帰り予定

③ 遺跡報告会

期　日：2008年12月20日(土)　　場　所：北海道大学 学術交流会館

④ 定例研究会

開　催：年３回　　時　期：７月、11月、２月（予定）

⑤ 特別委員会の設置

「遺跡保護特別委員会」、「国際交流特別委員会」

⑥ 会誌「北海道考古学」第45輯の発行

発　行：年１回　　時　期：2009年３月　500部発行

⑦ 連絡誌「北海道考古学会だより」の発行

発　行：年３回（第91号、第92号、第93号）　　時　期：７月、11月、３月

⑧ ホームページの管理運営

(2)2008年度予算案

収　入

項　目	費　目	2008年度予算額(A)	2008年度決算額(B)	増 ▲減	備　考
会　費	会　費	1,300,000	1,874,000	▲ 574,000	5,000円×260件
事業収入	研究大会収入	220,000	44,000	176,000	資料代　1,000円×120部 札幌大学学会開催 運営費補助　100,000円
	遺跡見学会収入	500,000	884,600	▲ 384,600	4,000円×125名（貸切バス３台）
	遺跡調査報告会収入	120,000	126,000	▲ 6,000	報告資料集売上 1,000円×120部
	会誌等販売収入	100,000	237,890	▲ 137,890	
	小　計	940,000	1,292,490	▲ 352,490	

広告料収入		0	0	0	
雑　　入		1,066	0	1,066	
繰　越　金		883,934	180,931	703,003	
基金繰入金		0	0	0	
特 会 収 入		0	0	0	
合　　計		3,125,000	3,347,421	▲ 222,421	

支　出

項　　目	費　　目	2008年度予算額(A)	2008年度決算額(B)	増　▲減	備　　考
事 業 支 出	研究大会費	500,000	230,571	269,430	要旨印刷・講師謝礼 交通費・会場使用料等
	遺跡見学会費	300,000	702,256	▲ 402,256	貸し切りバス等／振込手数料
	研究会費	20,000	10,000	10,000	案内発送、研究会共催費
	遺跡調査報告会費	300,000	237,980	62,020	資料集印刷・発表者 交通費・会場使用料等
	会誌印刷費	1,200,000	653,940	546,060	第45号500部／振込手数料
	だより印刷費	160,000	169,310	▲ 9,310	91号・92号・93号／振込手数料
	ホームページ費	90,000	29,604	60,396	プロバイダー契約料 更新・維持管理費
	小　　計	2,570,000	2,033,660	536,340	
事 務 支 出	総会費	5,000	0	5,000	
	委員会費	5,000	0	5,000	
	消耗品費	50,000	30,734	19,266	文房具代・封筒代・コピー代等
	通信費	200,000	202,803	▲ 2,803	会誌・だより発送費 葉書切手代金等
	賃　金	50,000	12,500	37,500	会誌・だより等の発送等 その他事務処理
	小　　計	310,000	246,037	63,963	
特 別 支 出	名簿作成費	0	183,790	▲ 183,790	
予　備　費		245,000	0	245,000	
合　　計		3,125,000	2,463,487	661,513	

2008年度北海道考古学会基金会計

項　　目	費　　目	予算額	基金積立額	基金総額	備　　考
基　　金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構保男氏寄付金		20,000	860,000	平成17年５月29日10,000円送金 平成18年３月22日10,000円入金
	宮下正司氏寄付金		10,000	870,000	平成20年３月31日10,000円入金
	臨時積立金		200,000	1,070,000	
合　　計				1,070,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財調査団事務所被災支援金	77,000		993,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	160,000		833,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	60,000		773,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		533,000	
合　　計		537,000			
基　　金　　残　　高				533,000	

遺　跡　見　学　会

毎年恒例の遺跡見学会、今年度は千歳・苫小牧・厚真を巡る計画で準備中です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

期　　日　８月３日(日)　雨天決行

集 合 場 所　札幌駅北口（観光バス乗り場）　集合時間８：00
恵庭駅東口（エコバス停付近）　集合時間８：30
千歳駅東口（フリー自転車ステーション看板前）　集合時間８：50
＊バスは北遊観光バスです。

見学コース

JR札幌駅北口（8:00）⇒　JR恵庭駅東口（8:30）⇒　JR千歳駅東口（8:50）⇒
⇒（千歳市）祝梅川上田遺跡、梅川１遺跡、祝梅川小野遺跡、梅川４遺跡の発掘調査現場（調査機関：財団法人北海道埋蔵文化財センター）
⇒（苫小牧市）苫小牧市博物館、国史跡静川遺跡　⇒　車中にて昼食　⇒
⇒（厚真町）ヲチャラセナイ遺跡・ヲチャラセナイチャシ跡・幌内７遺跡の発掘調査現場（調査機関：厚真町教育委員会）
⇒（厚真町）桜丘チャシ跡
⇒　JR千歳駅　⇒　JR恵庭駅　⇒　JR札幌駅（各駅には18時～19時頃到着予定）

＊なお、天候・道路・現場の状況により行程を多少変更する場合がございます。
ご了承下さい。

参 加 費 用　大人4,000円、中学生以下2,000円（バス代、保険料込み）
＊当日申し受けます。

募 集 人 数　先着順80名（予定）

申込み方法　往復葉書かメールで。**電話受付は致しません。**

①往復葉書の場合

〈往信部表面〉　〒064-0922 札幌市中央区南22条西13丁目
札幌市埋蔵文化財センター　柏木宛
〈往信部裏面〉　郵便番号、住所、氏名（同行者名も）、電話番号、希望集合場所を記入。
〈返信部表面〉　返信用の郵便番号・住所・氏名
〈返信部裏面〉　何も記入しないでください。

②メールの場合

daisukek@mbc.ocn.ne.jpに郵便番号、住所、氏名（同行者名も）、電話番号、集合希望場所を記入し送信してください。

申し込み期限　７月23日(水)　当日の消印有効。

キャンセル　葉書かメールで。７月30日(水)以降のキャンセルは、下記問い合わせ先にお電話下さい。

問い合せ先　平日の18：00～20：00のみ
見学会担当　長町（090–2876–1170）、柏木（090–2819–5462）、下野（090–2871–1357）まで。

服装・お持ちいただくもの

昼食・雨具は持参して下さい。また、歩きやすい服装・靴でお越し下さい。その他、帽子、虫よけ、筆記用具などお持ちいただくことをお勧めいたします。

定例研究会のお知らせ

第１回定例研究会

○日　時：７月12日（土）　13：30分～
○場　所：北海道大学博物館 ２階 共同研究室　　＊会場へは公共交通機関をご利用下さい。

○発表者：中澤　寛将（中央大学大学院）
○テーマ：「日本列島北部における須恵器生産・流通・消費をめぐる諸問題」
○要　旨：出羽・陸奥両国における須恵器生産は、８世紀代に城柵・官衙の設置に伴って導入され、９世紀末葉になると津軽でも行われるようになる。エミシ社会での須恵器生産は郡程度の地域内流通を目的として操業され、津軽・五所川原窯も在地供給を主体とした地域窯の一形態と捉えられる。一方、津軽海峡を隔てた北海道では、８世紀後半以降に出羽・陸奥地域から須恵器が流入し、10世紀中葉以降になると五所川原産須恵器が若干量流入するようになる。本報告では、東北地方北部と北海道における須恵器を主な検討対象とし、日本列島北部における須恵器生産・流通・消費について時期毎に検討をくわえ、エミシ社会における須恵器生産導入の歴史的意義について述べたい。

○発表者：布施　和洋（北海道大学大学院）
○テーマ：「北海道島における陶磁器の流通と消費―12世紀～16世紀の北海道島の諸相―」
○要　旨：これまでの北海道島における陶磁器研究は本州の陶磁器研究の延長線上で語られてきたものが多い。本州島からの移住者が日用食膳具として使用する“漆器”と、北海道島の在地集団が儀式時に使用する“漆器”を同様のレベルで語ることができないように、北海道島から出土する陶磁器についても、本州と同様の分析や資料解釈だけでは実情を反映しない可能性がある。このような状況の中で、北海道島内における地域毎の特性を導くことは消費における受け手側の選択性を明らかにする上で重要であり、これには北海道島で陶磁器出土例が増加した現在、北海道島内における地域別の陶磁器比較が必要である。本報告では北海道島内における陶磁器の流通状況・消費傾向としての選択性・地域性を明らかにしていきたい。

第２回定例研究会

○日　時：平成20年11月22日（土）
○発表者：荒山　千恵　（北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座専門研究員）
○題　目：「考古資料にみる音響発生器具について（仮題）」
＊詳細は決まり次第、追ってお知らせいたします。

訂正：だより90号「会員の動向　訃報」（８頁）において、一部誤りがありましたので、次のとおり訂正させていただきます。
（誤）本会の初代委員長（現会長職）として → （正）本会の初代会長として

会費納入についてのお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認した後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770－６－8358　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　（学部本科生）3,500円

会誌編集委員会からのお知らせ

2009年４月刊行予定の第45輯への会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。論文・研究ノート以外にも、資料紹介・書評などの投稿も歓迎いたします。編集の都合上、投稿を予定されている方は、あらかじめ編集委員会にお知らせいただければ幸いです。なお、投稿規定に関しての詳細は、北海道考古学会会員名簿（2007年度版）53～55頁に掲載した「北海道考古学」投稿について（抜粋）をご覧下さい。

原稿送付先：北海道考古学会会誌編集委員会　宛
〒060-0811 札幌市北区北11条西７丁目　北海道大学埋蔵文化財調査室
TEL：011-706-2671　　FAX：011-706-2094
締 め 切 り：2009年１月末日

北海道考古学会だより　第91号　2008年７月１日　発行
発行所　北海道考古学会（HP：http : //www.h7.dion.ne.jp/~hokkouko/）
事務局；〒062-8520　札幌市豊平区西岡３条７丁目３番１号
札幌大学文化学部　川名研究室気付　TEL/FAX（011)852-9313
E-mail；hokkaidokoukogakkai@m9.dion.ne.jp
印　刷　北海道図書企画　（011)668－1131